

# 九州・アジア/中国ビジネス研究会

## 第77回研究会開催案内

**日時：**平成25年6月27日(木) 18:30 - 20:30

**場所：**エルガーラ・オフィス棟 6階601-2号室 久留米大学福岡サテライト教室

福岡・中央区天神1-4-2 大丸エルガーラ東館 TEL：092-737-3111

(エルガーラ・オフィス棟は天神・大丸エルガーラ東館と国体道路沿いで隣接するビルです)

**講師：**九州大学ビジネススクール教授 村藤 功(むらふじ いさお)氏

**略歴：**東大法卒、ロンドン・ビジネス・スクールMBA。ペイン、メロン銀行、CSFB、ペレグリン、朝日アーサーアンダーセン、ベリングポイントを経て2003年から九州大学ビジネススクール(QBS)教授。2000年-02年の総合商社セクターの事業統合や連結事業部制導入の多くを企画・実行支援。QBSでは、企業財務、M&A担当。09年4月から11年3月まで産業マネジメント専攻長、2010年からQBSエグゼクティブプログラム責任者。経産省主催CFO人材育成システム開発委員会の委員長。2003年から2009年まで経済同友会会員。キンザイ・CFO協会、銀行研修社のCFO検定・CFO講座の企画・試験委員・委員長。熱海市、久留米市、糸島市等で行政改革委員、ガス民営化委員、事業仕訳委員・委員長等。2009年秋の行政刷新会議第2ワーキンググループ(厚生労働省、外務省、経済産業省担当)の仕分人。スカパーのビジネス・ブレイクスルー・チャンネル(ch.757)で、「経営革命(16回)」「ITと経営変革(12回)」「21世紀の財務戦略(12回)」「日本の財務再構築(12回)」の番組講師。2006年KBC、2007年クロスFM、2012年からFM福岡のラジオ番組BBIQモーニングビジネススクールで財務担当。著書として東洋経済新報社から「連結財務戦略(2000年)」と「日本の財務再構築(04年)」、中央経済社から「コーポレートファイナンス(2006年)」、「事業ポートフォリオの最適化(2010年)」、創成社から、「M&Aアドバイザーの秘密(08年)」。

**テーマ：**「東北アジアの現状と見通し～サバティカル報告」

**概要：**2012年4月から2013年3月まで九大でサバティカル休暇を取り、2012年5-8月韓国ソウルのKAISTビジネススクール、9月-2013年2月まで中国遼寧省瀋陽東北大学ビジネススクールに滞在した。韓国では、週末に列車やバスで各主要都市に行き様子を見てきた。先の大戦終了時元々、「日本分割」であった話が「朝鮮半島分割」になり、北朝鮮問題は今も韓国に影を落としている。中国は世界の工場から市場になり、日本企業は工場における組立だけでなくバリューチェーンの全体像を持ち込み管理する必要が出てきている。九州企業にとっては、工場なら大連でいいが、遼寧省の市場を狙うなら省都瀋陽の方が、必要なインフラがあり、ロジスティクスを企画実行しやすい。去年から島の問題で揉めており中国プラス・ワンの動きもあるが、日本企業としては工場を低い労働コストのベトナム、ミャンマー等に移したとしても、巨大市場になりつつある中国市場から撤退することはありえない。他に中国生活で気がついたり考えたりしたことをいくつか挙げる：①最近の中国の高校生は日本とは比較にならないほど勉強させられている②もと少数民族の支配地は中国領土の半分を占めるが、少数民族が皆中国から独立したがっているわけではない③ロシアは、17世紀のネルチンスク条約で決めた境界から19世紀に欧米列強が中国分割に入ったどさくさに紛れて、スタノボイ山脈以南・アムール左岸や、ウスリー以東を奪った④中国と日本は互いに小さな島を巡って争っているが、これはどちらのためにもならない。島の問題は棚上げにして、政治・経済関係を正常化すべきである。

**会費：**参加ご希望の方は以下に申込み、登録の上、当日会場入り口にて参加費1000円をお支払いください。

申込み先：(株)アジアソリューション・中山芳美 宛

電話：092-741-9338 E-mail：yoshimi@asol.ne.jp

九州・アジア/中国ビジネス研究会

主催：一般社団法人九州・アジアビジネス連携協議会

共催：近畿大学産業理工学部・アジアビジネス研究会